

3年A組 社会科学学習指導案

授業者 伊藤直生

- 1 単元名・教材名 第2章 人間の尊重と日本国憲法
3節 これからの人権保障 (新しい社会公民 東京書籍)
- 2 本時の目標 臓器移植に関して、諸資料から読み取ったことを根拠に自分の考えを賛成、反対の立場から表現することを通して、自己決定権が持つ重要性や一人ひとりが持つ人権の尊さを理解する。
- 3 本時の流れ 本時2/4時

段階	学習内容	支援上の留意点	評価規準と評価方法
導入 8分	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習した新しい人権について確認する。 2 自己決定権と臓器移植について知る。 3 臓器移植法は2009年に改定されたことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で確認することでレディネスを揃える。 ・一人に一枚ずつ配布することで資料に集中して向き合わせたい。 ・改定によって15歳未満でも提供できるようになったことにも気づかせたい。 	
展開 37分	4 学習課題Ⅰを提示する。	なぜ臓器移植法が改定されたのだろうか？	
	<ol style="list-style-type: none"> 5 課題に対する予想をたてる。 6 臓器移植の現状について、諸資料をもとに考察し、発表する。 (グループ) 7 課題Ⅰについてまとめる。 (グループ→個人) 8 学習課題Ⅱを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考えが持てない生徒には周りの生徒の考えを参考にさせる。 ・移植医療先進国の米国と比較させ日本の移植の現状について読み取ったことを根拠に考察させる。 	
	臓器提供をするかしないか自分の立場を示し、自己決定権について考えよう。		
	<ol style="list-style-type: none"> 9 臓器を提供するかしないかを資料を基に考察し、カードに記入する。 (個人) 10 自分の意見を発表する。 (個人→グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・臓器提供賛成と反対の2つの立場についての資料を読み取らせることで自分の考えに根拠を持たせる。 	
終結 5分	11 本時を振り返り、感想を記入する。 (個人)	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな判断をしようともそれが個人に与えられた自己決定権という人権だからその意思は尊重されるべきだということを説明したうえで発表を聞いての感想を記入させる。 	【知識・理解】 臓器提供の賛否を通して人権が持つ重さや尊さを理解している。

4 指導にかかる思い

臓器移植について考えることを通して、自己決定権という一人ひとりに与えられた新しい人権がもつ重要性を理解させ、自分の生き方や生活の仕方について真剣に向き合わせたい。